

2025 年度 第 2 回運営推進会議

2025 年 7 月 14 日 (月)
地域密着型介護老人福祉施設
越谷なごみの郷
C 館 多目的室

運営推進会議の趣旨

I. 運営推進会議の目的

1. 事業所運営の透明性の確保
2. サービスの質の確保
3. 事業所による「困り込み」の防止
4. 地域との連携の確保

II. 地域密着型サービスの役割

- ① 本人本位の支援
- ② 継続的な支援
- ③ 地域で暮らし続けることの支援
- ④ 地域との支えあい等を理念とする地域密着型サービスは、入居者・利用者のより良い暮らしを着眼点に本人と地域との関係を断ち切らない支援

上記の役割を担うため、事業所と地域との良好な関係を築き、事業所が提供するサービスが、住民ニーズに即した価値のある地域資源として機能していく必要がある。利用者がどのような暮らしを望み、これからサービスを利用するかもしれない住民が何を期待しているのかを知らなければならぬ。

運営推進会議は、事業所と地域との関係をつなぐ一つの手段であり、地域密着型サービスを「事業所と地域住民とが一緒に育てていくことを目的に行っていく。

1. 介護老人福祉施設

【運営状況報告】

● 介護老人福祉施設 5月12日～7月13日までの入居・退居状況

入居者	退居者	ショートステイ	在籍者
1名	1名	定員9名	29名

● 平均年齢と平均介護度

平均年齢	平均介護度
88.2歳	3.7

● 人員体制 人員配置基準(3:1)

入退職者・異動職員	地域密着型施設の職員数	現在夜勤可能職員数 夜勤専従
入職者=2名 退職・異動者=1名	20名(前回比 2名) 常勤換算数:15.0人 配置基準3:1割合(2.5:1)	夜勤可能職員数12名(4~6回) 夜勤専従2名(9回~10回) 夜勤配置2人配置

● 教育・研修等

- ・法令に沿った研修を実施予定

● 活動状況・予定

活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月23日いちご狩り ・6月23日SSうどん作り ・7月4日流しそうめん ・7月29日流しそうめん(予定)
ユニット会議 リーダー会議	<ul style="list-style-type: none"> ・5月28日ユニット会議、リーダー会議実施 ・6月25日ユニット会議、リーダー会議実施 ※入居者さんの支援や今後の活動等の話し合いを行っています。又、リーダー会議においては今後のリーダー候補についての話し合いも行いました。
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・5月:虐待防止研修、認知症研修 ・6月:身体拘束防止研修 法人看取り研修(責任者、相談員・CM、リーダー)

●事故・苦情の発生状況

種別	件数	内 容
転倒	2 件	<p>① 2 人対応で他利用者さんをトイレ誘導していると、ユニットフロアから「ドンっ」と音がして、トイレ誘導後すぐにフロアへ向かうとご本人が床に座っているのを発見する。車椅子から立ち上がり転倒したと考えられる。フロアから離れる際は、本人が集中できるよう雑誌やタオルたたみが出来るような準備をしてから離れることとしました。</p> <p>② 6 時 20 分に離床し、Bユニットリビングテーブルへ案内する。その後、職員は隣のユニットの利用者さんの離床介助に向かった。6 時 50 分Bユニットへ戻ると、ご本人が自室前の廊下で倒れているのを発見。常時シルバーカーを使用しているが、シルバーカーを使用せず、自室に戻り荷物を取り、戻るところで転倒したと考えられる。痛みが強く受診し、打撲の診断であったが、数日たっても痛みが変わらなかつた為再度受診し、腰椎圧迫骨折の診断がありました。再発防止対策は人感センサーを使用し、動き出しに早く気付くことが出来るようにします。</p>
異食	0 件	
転落	0 件	
薬	1 件	<p>① 職員がSS利用者さんをリビングテーブルの椅子に案内した際、椅子の上に錠剤が1錠落ちているのを発見する。錠剤の薬名とSS利用中の全利用者の服薬内容を確認し、与薬漏れのあった利用者特定しました。ご本人の様子に変化はありませんでした。手の平に乗せて服薬介助を行ったが、落薬したことに気づくことが出来なかった。その為、その方に関しては手の平に乗せるのではなくスプーンに薬をのせて服薬介助を行うこととした。</p>
外傷	1 件	<p>① ご本人が3時40分より覚醒しており、居室の中を歩いて動きまわっていた。他利用者の対応が終わり、訪室すると左頬に内出血を発見。居室の家具にぶつけた可能性が考えられる。居室にあったテーブルはおかないこととした。</p>
その他	0 件	

2025 年度の目標

- ① ヒヤリハットを年間 10 件以上提案し、事故予防の対策を立案・実行する。
- ② 職員採用に関わる活動を年間 10 件以上行う。
- ③ ユニット会議において、介護計画書への提案を年間 10 件以上行う。
- ④ SS：ショートステイを継続利用して頂くため、環境作り・活動を年間 8 件以上行う。

運営推進会議の会議録

会議名称 : 2025年度 第2回運営推進会議
事業所名 : 地域密着型介護老人福祉施設 越谷なごみの郷
サービス種類 : 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
会議開催日時 : 2025年7月14日 (月) 10時00分 ~ 10時30分
会議開催場所 : 越谷なごみの郷

《運営推進会議出席者》

入居者	0名
入居者家族	0名
地域住民の代表	0名
知見を有する者	0名
地域包括支援センター職員	1名
事業者	7名

《議 題》

- 2025年5月12日～2025年7月13日までの活動状況の報告

《運営報告・活動状況等の報告》

- 資料参照

《ご家族や参加者からの要望、助言、意見等》

山田にて、運営推進会議の趣旨の説明

山田にて、第2回運営会議推進会議録資料に沿って、報告

参加者、説明に対し理解し了承する。

参加者からのご意見なし

《次回の会議》

- 次回議題

- ・ 2025年5月12日～2025年7月13日までの活動、状況報告
- ・ 運営等についての意見交換
- ・ 地域密着型サービスの主旨に基づいたサービス提供ができているかを基本に、地域活動を含め協議していく。

- 次回開催月日 2025年9月8日 (月)

- 次回開催場所 越谷なごみの郷